

2022年度の事業計画書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

NPO法人DAREDEMO HERO

1 事業実施の方針

- ・本年度も、以下の事業を確実に実施することを目標とする

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名<br>(定款に記載した事業)                                   | 具体的な事業内容  | (A) 当該事業の<br>実施予定日時<br>(B) 当該事業の<br>実施予定場所<br>(C) 従事者の<br>予定人数 | (D) 受益対象<br>者の範囲<br>(E) 予定人数       | 事業費の<br>予算額<br>(単位：千円) |
|--|---|--|------------------------------------|------------------------|
| フィリピンの<br>貧困層の子ど<br>もたちへの<br>教育支援事業                  | ・勉強に意欲のある子どもたちを選抜し、数学・英語を教える資格を持ったフィリピン人教員がスタッフとして常駐し、オンラインでの教育サポートを行う。<br>・日本語の授業を行い、子どもたちに様々な可能性を提供する。<br>・新型コロナウイルス感染症の影響により対面授業が禁止されている期間は、オンラインの授業を提供する。 | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 4名                           | (D) 当団体の奨<br>学生<br>(E) 50名         | 3,000                  |
|  | ・フィリピンの最貧困地区に住む子どもたちに、教育の機会を提供するためのラーニングセンターを運営する。  | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 4名                           | (D) ラーニング<br>センター生<br>徒<br>(E) 80名 | 2,500                  |
| フィリピンの<br>貧困層の子ど<br>もたちへの生<br>活費の提供・健<br>康サポート<br>事業 | ・団体で支援する奨学生に対して、栄養のある食事がとれるように生活費の支給を行う。<br>・当団体からの生活費のみでは、不十分な家庭には食材等の現物を支給する。<br>・通院、投薬が必要な場合、必要な費用の一部を支給する。  | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 3名                           | (D) 当団体の奨<br>学生<br>(E) 50名         | 2,500                  |

|  |  |   |   |        |
|--|--|---|---|--------|
| フィリピンの<br>貧困層の子どもたちへの<br>奨学金・学用品<br>等の提供事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業を受けるためのパソコン、もしくはタブレットの支給、およびWi-Fi 環境を提供する。</li> <li>・団体で支援する奨学生に対して、必要な学用品を現物支給する。</li> <li>・中等教育終了後の高等教育の授業料を支援し、それぞれの夢の実現までの支援をする。</li> </ul> | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 3 名                                     | (D) 当団体の奨<br>学生<br>(E) 50 名                     | 4, 700 |
| フィリピンで<br>起こる自然<br>災害に対する<br>緊急支援事業        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困窮する最貧困層に対して、生活の再生に向けて支援を行う。</li> <li>・台風 22 号の被災者に対する緊急支援及び復興支援を行う。</li> <li>・自立に必要な知識を提供する。</li> </ul>                         | (A) 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの期間<br>台風 22 号に関しては、半期まで<br>(B) フィリピン国内<br>(C) 5 名 | (D) セブ島最貧<br>困地区の住民<br>(E) 不特定多数                | 7, 500 |
| 日本とフィリ<br>ピンの文化<br>交流促進事業                  | 新型コロナウイルス感染症の影響により海外留学などが中止となった日本の学生と、現地の子どもたちをつなぎ、オンラインでの文化交流を行う。   | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 2 名                                     | (D) 日本人とフ<br>ィリピン人<br>の参加者<br>(E) 100 名         | 300    |
| 日本の若者を<br>受け入れる<br>グローバル<br>人材育成事業         | オンラインを使ったSDG s 学習プログラムを行い、日本の若者に世界の現状を知ってもらい、日本でもできる「ワンアクション」を自分たちで考え、実行させる。   | (A) 通年<br>(B) フィリピン<br>セブ島<br>(C) 2 名                                     | (D) 日本人の参<br>加者とフィ<br>リピン人の<br>受益者<br>(E) 不特定多数 | 500    |
| グローバル人<br>材育成の講演<br>会事業                    | オンラインで講演を行い、団体の活動を広めるとともに、若者たちにフィリピンの現状を伝えることにより真のグローバル人材となれるようにする。  | (A) 随時<br>(B) 日本各地<br>(C) 2 名   | (D) 講演会の<br>参加者<br>(E) 100 名                    | 117    |